

檀原市立図書館だより

令和2年11月10日発行
第43号

檀の樹

リモート図書館見学を
行いました! 2

図書館員の本棚 3

お知らせなど 4



リモート図書館見学を行いました！

図書館では毎年、市内の小学生を対象に図書館見学を行っています。しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響で見送られていました。

そのようななか今回、真菅北小学校の先生による提案で、Zoomを使用したリモート図書館見学が実現しました。

当日、先生2名が来館し、司会役とカメラマン役をしていただきました。

このとき、生徒のみなさんは、学校でZoomの映像を見ています。



司会役の先生に自動貸出機のデモンストレーションをしていただきました。非対面で貸出できますので、ぜひ利用してみてください。

なんと今回は、普段の見学では見ることのできない閉架書庫も紹介しました。書庫について興味のある方は「櫃の樹 第40号」で紹介していますので、よかったらご覧になってみてください。

一通り見学した後は、質問タイムです。学校にいる各クラスの代表者がZoom越しに質問してくれました。

生徒たちの反応を見られないので、案内のスピードの調整が難しいですが、普段入ることのできない閉架書庫を紹介することができるのは、リモートの強みではないでしょうか。



図書館員の本棚(27)

『「家族の幸せ」の経済学

データ分析でわかった結婚、出産、子育ての真実』

山口慎太郎／著（光文社）



経済学と聞くと「需要と供給」とか「景気」とか公務員試験（当時）のマクロ経済学というイメージでした。しかし『「学力」の経済学』（中室牧子／著・ディスカヴァー・トゥエンティワン）という本を読んで以来、私の経済学のイメージは変わった気がします（ちなみにこの本は、あるこども園の説明会で紹介されていました）。それ以来、『〇〇の経済学』といった本が目につくようになりました。

今回ご紹介する本は、「家族の幸せ」の経済学です。筆者によると「経済学は、人々がなぜ・どのように意思決定をし、行動に移すのかについて考える学問」とのことです。結婚、赤ちゃん、育休、イクメン（お父さんの育休）、保育園、離婚をテーマにして6つの章に分かれていますので、関心のあるところのみ読むこともできます。それぞれ、大規模な調査などで実社会から得られたデータを分析して得られた成果を紹介しています。例えば、以下のような内容はいかがでしょうか？

「育児は必ずお母さんがしなければならないのか？」

保育園に預けて職場復帰するときに気になる問題のひとつです。この問題に対して、「生後、お母さんと過ごした時間の長さは、子どもの将来の進学状況・労働所得などにはほぼ影響をあたえていない」という結果が複数の国で報告されているとあります。また、日本で子どもたちが保育園に通うことへの影響について筆者らの調査結果が紹介されています。プラスの影響が出るかは家庭環境によりますが、マイナスの影響は見つけられなかったとのことでした。

「母乳育児はメリットばかりなのか？」

いろいろなところで推奨されていたり、おすすめする声を聞いたりする母乳育児ですが、単純に母乳育児で育った子どもと粉ミルクで育った子どもを比較して、母乳育児で育った子どもが優れているからといって、母乳育児の効果とはいえません。それでは、もともと経済的に豊かな家庭や子育てに熱心な家庭が母乳育児をしていた可能性があるからです。そのようなほかの可能性を排除した調査から、著者は母乳育児に、短期的及び長期的な効果があるのかどうか紹介しています。著者によれば、短期的なメリットはあるとのことですが、11歳半を超えての長期的な効果は認められないそうです。

もちろん、すべての答えが載っているわけではありません。まだ、科学的に分かっていないことは分かっていないと書かれています。また、科学的に効果があるとされることと、それが家族の幸せにつながるかは別問題です。著者も「科学研究は、私たちがよりよい選択をする上での助けにはなりますが、『何が自分にとっての幸せなのか』までは教えてくれません」と述べています。例えば、母乳育児には子どもの健康に短期的なメリットがあるからといって必ずしなければならないとは書いていません。したがって、自分たちで納得のいく人生を選ぶためにヒントにするための本であるといえます。

図書館ウィズコロナ

3月頃からはじまった新型コロナウイルス感染症拡大に伴う図書館の臨時休館は5月末ごろまで続いた。6月頃から全国の図書館は様々な感染症対策を取りながら開館し始めた。

ビニールシートの設置、マスク着用、検温、来館者名簿の作成、閲覧席の撤去、返却本の隔離、新聞雑誌撤去等図書館によってコロナ対策は様々。制限していたサービスを段階的に戻していくタイミングも項目も感染者の状況が同じ県内の図書館によって違う。「〇〇の図書館は〇〇できるのに、檜原の図書館はなぜできないのか？」というご意見をよく耳にする。理由は簡単、正解が解らないからである。新型コロナウイルスは人類が初めて遭遇した感染症であり、どの対策が有効か解らない。各図書館が様々な対策を取っているが、実際はどこまで有効か解っていない。ウイルスが人を介して感染し、感染した人が触った物にもウイルスが付着し、それを触ることで感染が拡大する可能性がある以上、人と人の接触を少なくし、人が触った物を消毒するという観点から、図書館サービスを制限することしかできない。返却された本を消毒したり、一定期間隔離したりしているが、実際は本や新聞、雑誌を介して感染はしないかも知れない。早い段階で、通常のサービスに戻し、それ以降感染が拡大しなかったとしても、それが正解とは言い切れない。たまたま利用者の中に感染者がいなかっただけかもしれない。確かなことは、図書館でクラスターが発生した場合は、閉館になるということだ。私たちは、ワクチンができるその日まで、見えない敵に怯えながら、図書館の開館を維持することしかできない。



2020年7月から、檜原市立図書館でもツイッターを開始しました。

ツイッターとは、140字以内の投稿を行えるSNSです。その短さから、投稿は「つぶやき」と呼ばれています。ぽつりぽつりと、イベントのご案内や開館状況、ときおり本の紹介などもつぶやいておりますので、よろしければぜひご覧になってください。

当アカウントは科学館との合同アカウントですので、フォローしていただければ科学館の情報も手に入るお得な仕様となっております。

アカウント名:@tosho_kagakukan 名前:檜原市立図書館・こども科学館(かしはら万葉ホール)で検索してみてください。

(QRコード)



おはなし会を再開しました

9月からおはなし会を再開しました。

参加については、コロナ対策のため、事前申し込みをお願いしています。会場はおはなし室が密になるため、使用できませんので、ホームページや館内チラシでご確認ください。

檜原市立図書館

檜原市小房町11-5 TEL:0744-29-2121 FAX:0744-29-1011
ホームページ <https://www.city.kashihara.nara.jp/>

表紙 再開した「赤ちゃんとおはなし会」。フェイスシールド、マウスシールドを着用しています。